

## EGKメンバーが企画提案!

三重県南伊勢町の「Enjoy Good Keep (いぐ行政経営)」EGK改善発表会は、「行政経営システム運営改善発表会」の愛称である。2

で組織する実行委員会。「行政経営システム」「改善」「部署を超えた協働事業」を学ぶ人材育成の場となっている。例年の発表会は、EGK改善発表会実行委員会メンバー(EG



本連載は「自治体改善マネジメント研究会」のメンバーが執筆しています。同研究会は自治体で改善運動を推進してきた職員と行政経営デザイナー元吉由紀子が共同で設立。実践事例情報を収集、分析し、ナレッジ化して情報発信している。2017年にNPO法人化。ホームページ、Facebook「自治体改善の輪」を運営。

### 第14回

## EGK改善発表会 実行委員会の取組み ~ちょっとした困りごとを 「ちょっとした贈り物」で改善~

ンバー内でアンケートを実施し、「新規採用職員研修の改善案」となった。発表会で実行委員会の企画として提案したところ、町長の承認を得ることができた。結果、18年度の研修内容に反映され、新規採用職員研修がバージョンアップして実施された。

しかし、実施したのは総務課研修担当だった。すばらしい改善提案であったが、自ら改善する「実行」にまで至らなかったのは、研修担当者が改善のプロセスを彼らと協働しなかったためである。

それだと改善は自分とは関わりのない業務への「無責任な提案」で良いと感じてしまったり、自ら改善したという「達成感」を得られなかったりする可能性がある。

そこで、18年度のEGKメンバーには、自らが改善を実行して達成感を得られるよう、身近なことで自らが入庁してから困ったことを話し合ってもらった。出てきた内容は、ほんの少しの疑問、不安、業務外の「ちょっとしたこと」だった。だからこそなかなか人には聞きづらい困りごとになっていた。

### 新規採用者への「贈り物」

例えば、駐車場の位置、ごみの出し方、弁当の頼み方など。入庁して間もない頃を思い出し、自分たちが困ったことを出し合った。それらを次の新規採用者に知ってもらい少しでも早く解決し、職場に慣れてもらう方法はないか。

改善策として、「ちょっとした贈り物」と題した冊子を作成し、発表会で企画提案を行い、承認後採用予定者に送付することにした。

新規採用職員ならではの発想と改善による発表だと、うれしい感想をたくさん頂けた。このことは、EGKメンバーにとって自信に繋がったと感じている。さらに、自ら改善を実行したことにより、日々の業務においても改善を実践できる人材に成長していけるのではと考えている。

### 「時代と共に変化できる組織」

改善が日常化し、実践していける職員が増えれば、組織は常に変化し続けることができる。南伊勢町の「人材育成基本方針」が目指す「時代と共に変化できる役場組織」を作り出していく人材が実行委員会の活動を通じて、今後も育成されていけばと考えている。

013年度から、各課経営方針に基づき職員の知恵と工夫で「改善」した実践事例を共有し、職員力を向上し続けられるよう毎年開催している。発表会の運営を担うのは、入庁3年目までの若手職員

Kメンバー」が企画提案するのが恒例になっている。単なる賑わいとして企画することはせず、あくまで「改善」を学ぶ場であるので、当然テーマは「改善」だ。17年度の企画提案は、EGKメ